

あじさいネット

OFF LINE 通信

2020.1
Vol. 33

Regional Health Information Network



神楽島（長崎市）

年頭所感	「国のスタンダードとなる地域医療ネットワークを目指して」 あじさいネット会長 小尾 重厚先生	p.2
運用報告	あじさいネット通常総会 開催報告	p.3
研究会報告	第8回あじさいネット研究会 開催報告	p.4-5
お役立ち	情報提供病院 連絡先一覧	p.6-7
会員様の声	情報閲覧施設 宮崎内科医院 宮崎 正信 先生	p.8
会員様の声	情報閲覧施設 広瀬クリニック 廣瀬 弥幸 先生	p.9
ご案内	● あじさいネット機能一覧／入会案内 ● あじさいネットからのお知らせ／あじさいな人々／編集後記	p.10-11 p.12

現在の運用状況	
● 患者登録数：	99,584 名
● 会員数：	1,472 名
● 情報閲覧施設数：	358 施設
● 情報提供病院数：	37 施設
(令和元年12月24日現在)	

賛助会員	
◆	株式会社ホギメディカル 福岡営業所
◆	日本電気株式会社 医療ソリューション事業部
◆	株式会社LSIメディアンス
◆	富士通株式会社 長崎支店
◆	株式会社NTTデータ中国
◆	オフィスメーション株式会社
◆	株式会社ディーソールNSP
◆	PHC株式会社



特定非営利活動法人
長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会（あじさいネット）

事務局：〒852-8532 長崎県長崎市茂里町3番27号（長崎県医師会内）
TEL. 095-844-1111 FAX. 095-844-1110 Eメール：aj-na@nagasaki.med.or.jp



年頭所感

あじさいネットの 更なる飛躍を目指して

特定非営利活動法人
長崎地域医療連携ネットワーク

会長 小尾重厚 先生



AI時代を目前にして

2004年から始まったあじさいネットは丸15年が経ち、今年で16年目を迎えました。今ではあじさいネットへの加入施設が増え続け、ネットワークが県下全域に広がった事をとても嬉しく思います。

昨年9月に行われた第8回あじさいネット研究会では、これまでのテーマとは打って変わって、「AI(愛)するあじさいネット」をテーマに、医療のAI時代に地域医療情報ネットワークはどう活用できるのかを議題にして、「医療情報の利活用、保健医療分野におけるAI開発についての厚労省の取り組み」と、「サイバーフィジカルシステムの社会実装への取り組み」について、2名の専門家の方に貴重な講演をしていただきました。講演の際に大きく取り上げられた「Society5.0」とは、日本政府が提唱しているテクノロジーを活用した社会のしくみを作る事を指します。狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続き、第5期科学技



【おび じゅうこう】

昭和五十二年 弘前大学医学部を卒業。長崎大学病院、国立長崎中央病院(現長崎医療センター)勤務を経て、昭和六十三年「おび産婦人科医院」開院。大村市医師会 第12代目会長。

術基本計画において、我が国が目指すべき未来社会の姿として、今回初めて提唱されたのが、新たな社会(Society5.0)です。

Society5.0では、以前の情報社会(Society4.0)において課題であったサイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)の間における連携不足な部分を、IoTやビッグデータを活用する事によって、人とモノがより簡単に繋がる事を目指します。今までの15年と、これからの15年をターニングポイントで分けたなら、これからはAIが鍵であり、近未来の私達はおそらくAIなしでは生きていけません。今まであじさいネットは、ネットワークを長崎県に張り巡らせ、その広がりを見せてきましたが、その次は、IoTを駆使して長崎県内のビッグデータを集める必要があります。しかしそこには、行政との情報の利活用等の連携が大変重要になってくるのです。

ビッグデータの活用

行政との関りを強める事が出来たなら、県主体の健診情報の有効活用も可能となります。あじさいネットに大村市役所が加入し、そこから「周産期医療支援システム」の行政による妊婦登録が始まりました。産婦人科では、iPadが普及したおかげで同意書の手書きがなくなり、妊婦さんの情報登録は看護師との分担入力によって、入力の手間を省く事が出来た為、大変助かっております。

また現在、大村市を中心に「小児発育支援機能」を準備中です。行政との取り組みを強化できれば、本システムに小児健診記録やワクチン接種記録等を反映させ、さらに便利で有益になると確信しています。2025年問題が懸念される中、今後は行政の役割が更にポイントとなってくるはずが、

医療情報は秘匿性が特に高い

マイナンバー制度の導入により、多くの個人情報名寄せされつつありますが、その中でも、患者情報は特に守るべき機微な個人情報とされています。現在日本では、2021年3月からの施行を目指し、マイナンバーカードを健康保険証と一体化しようという取り組みが進められています。便利になっていく世の中で、個人データの全てが結びつけばいいという事は、かえって危険です。私達の地域医療ネットワークはその中央に位置しているため、常にセキュリティの強化を図る必要があります。あじさいネットは、患者の情報をしっかりと守る為にも、常に信頼できる地域医療ネットワークであり続けます。

診療科ごとの利用価値を高める

あじさいネットへの会員入会が増える一方で、皮膚科や小児科等では内科などと比較して、症状が短い・慢性の病気が少ないからなどを理由に、中には退会を希望される先生方も散見されます。このような事から、科別であじさいネットを有効に利用していただくような対策が必要ではないかと考えます。対策の例としては、科別であじさいネットの勉強会を開き、TV会議にて配信する事や、専門医制度も絡むので履修単位を出すなど、会員維持の為の対策を練る必要があるようです。

圧倒的進化を遂げる世の中で、あじさいネットも常に最先端を行く地域医療ネットワークとして、日々精進してまいりますので本年度も、あじさいネットをよろしくお願ひ申し上げます。

《賛助会員様広告欄》

HOGY®

一步先の手術室環境づくりをお手伝いします。

ホギメディカルでは、不織布・キット製品など感染対策製品および理想的な病院経営を総合的にサポートする手術管理システムをご提供しております。
国内最大級の生産・滅菌システムと全国25箇所の営業所ネットワークによって安定的な製品提供ならびにお客様サポートで「安心」をお届けしております。

株式会社 **ホギメディカル**

本社：東京都港区赤坂2-7-7 TEL:03-6229-1300 FAX:03-6229-1344



平成30年度N P O法人 長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会(あじさいネット) 通常総会が開催されました。

令和元年11月25日(月)19:30～20:10 於：大村市医師会館

終始穏やかな雰囲気です。次年度事業計画・予算等議案の協議が行われ、
全議案滞りなく承認議決されました。

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議事録署名人の指名
5. 議 事

1号議案 平成30年度通常運用報告について

会員数・参加施設数

以下の()は前年度からの増減数です。

- ・会員 1,461名(115人増)、賛助会員 8社、団体・組織入会 9団体
- ・参加施設 391施設(12施設増)
情報閲覧施設 354施設(11施設増)、情報提供病院 37施設(1施設増)

活動実績

- ・あじさいネット見学対応 8回 【H30.10～R1.9】
- ・学会・研究会発表・講演 20回 【H30.10～R1.9】
- ・運用説明会・運用講習会等 28回 【H30.10～R1.9】

2号議案 平成30年度決算等について 監査報告

3号議案 令和元年度事業計画(案)について

4号議案 令和元年度予算(案)について

5号議案 理事及び運営委員の改選について

その他

6. 閉会の辞



小尾重厚先生



田崎賢一先生



柴田真吾先生



中田俊則先生



松本武浩先生



《賛助会員様広告欄》

NEC

ともに奏で、ともに創る。私たちの未来。

私たちは世界中の人びとと協奏しながら、
先進のICTで、明るく希望に満ちた社会を実現していきます。

Orchestrating a brighter world



会場：長崎県医師会館（2階講堂）

第8回 2019年9月14日（土）開催！ あじさいネット研究会

AI
AIするあじさいネット

～ 医療のAI時代に地域医療情報ネットワークはどう活用できるのか～

昨年も「あじさいネット研究会」が9月に開催されました。今回で全国規模の研究会は第8回目の開催となります。

第1部の特別講演では厚労省が目指す医療情報やAIを活用した分析戦略についてご講演していただき、第2部の基調講演では第一線のAIを使った分析のスペシャリストの立場として最先端のAI利活用のご講演をしていただきました。そして第3部では、地域医療連携ネットワークから得られるデータ分析について4名の先生にご紹介いただき、その後に総合討論が行われました。今年は例年より少ない参加となりましたが、とても中身の濃い研究会となりました。

なお演者6名のご講演内容は、あじさいネット内「医療関連ビデオ配信」で後日配信予定です。研究会に参加できなかった方は、ぜひ動画にてご覧ください。

第1部：特別講演

- 医療情報の利活用、保健医療分野における AI 開発について
（厚生労働省の取組）

伯野 春彦 氏（厚生労働省医政局研究開発振興課長）



第2部：基調講演

- サイバーフィジカルシステムの社会実装への取り組み
～ Society5.0 に向けた人工知能技術と社会実装の動向～

本村 陽一 氏（(国研)産業技術総合研究所 人工知能研究センター/人工知能技術コンソーシアム）



第3部：シンポジウム・総合討論会

- 地域医療情報システム利用による経営面での効果
田浦 直太 先生（長崎大学病院 総合患者支援部 / 医療情報部）
- AI を活用した被災患者情報の重みづけ
三池 徹 先生（佐賀大学医学部附属病院高度救命救急センター 副センター長
佐賀大学医学部附属病院 病院助教）
- 地域医療情報システムにおける検査データ標準化の取組み
臼井 哲也 氏（長崎大学病院 主任臨床検査技師）
- 周産期医療支援システム運用の評価 / あじさいネットで活用できる様々なデータ
松本 武浩 先生（長崎大学病院医療情報部 准教授 / あじさいネット理事）



《賛助会員様広告欄》

ヘルスケアの未来を変えていく。

 株式会社LSIメディエンス

臨床検査 / 健康診断サポート / 診断薬・機器 /
創薬支援 / 環境リスク評価 / 食の安全サポート / ドーピング検査

〒101-8517 東京都千代田区内神田一丁目13番4号



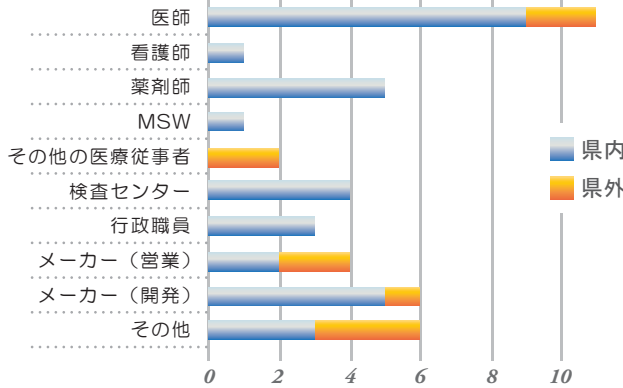
第8回あじさいネット研究会 ご来場者アンケート集計結果

研究会参加者総数 134名
うちアンケート回答数 43名

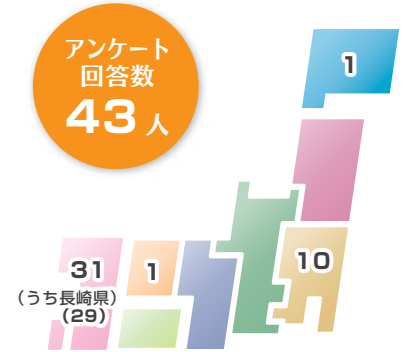
貴重なご意見を
いただき、
ありがとう
ございました!!



回答された方の職種



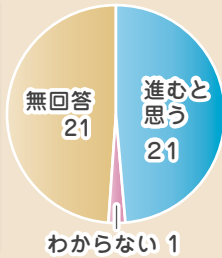
回答された方の居住地



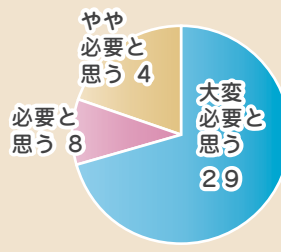
地域医療連携の診療情報に対するAIを活用した分析が今後は進んでいくと思いますか

進むと答えた方の回答

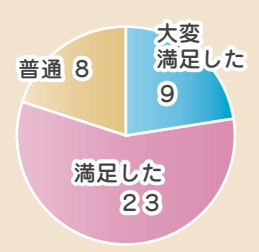
- 当然進むと思うが、電カル用語の共通化が必須
- 進むことで医療もより充実すると思う
- 画像分析の分野を中心に進んでいくと思う
- 医療人材の確保とともに必ず進めていかなければいけない
- 調剤薬局でも在宅事業が進んでいく中AIは必須



ICTを使った地域医療連携は必要と思うか



今回のあじさいネット研究会の満足度



ICTを使った地域医療連携を利用して行いたい診療やサービスはなんですか

- 他の診療機関EHRや検査データを使った診断と治療
- 少ない医療従事者で質を落とさず平等に対応する(いつでもどこでもだれでものサービス)
- 患者へのサービスは今Drの考えに基づいた事業的指導を行うこと、混乱をおこさせないこと
- 診断支援による正診率の向上(リコメンドサービス)
- 離島の方へのオンライン服薬指導
- 病院履歴、服薬履歴 ● PHR連携
- 多職種連携 ● TV会議による症例カンファ
- 看看や介護の情報連携 ● 生存確認
- 食生活と健康状態

ICTを使った地域医療連携の価値は何だと思いますか

- 患者が気が付かないでも安心した生活ができる事での満足感
- 救急も含めいつでもどこでも情報連携が安価でできること
- 全ての人を救える可能性がある、それしか方法がない
- 医療費削減、患者さんの満足度向上
- 基幹病院での検査、診療方針の情報が得られる
- 患者のための診療効率を最大化すること
- 的確な医療サービスの提供
- データ分析 ● 処理スピードとデータ蓄積
- 災害時の医療 ● 多職種での情報共有
- 情報共有

あじさいネットに追加してほしい機能は何ですか

- 薬剤師からも基幹病院のみでなく、診療所や介護事業所等からより広い情報が見れると良いと思います
- 病診の相互連携
- 患者自身や家族の情報参照
- ACP、調剤、OTC、サプリメント情報の共有
- 薬局薬剤師の記入欄
- もっと病院での患者病状があじさいネットからできるようにしてほしい(電子カルテと連携できるシステム)
- 在宅看護事業所の情報共有ができる機能

《賛助会員様広告欄》



あじさいネット接続用
新オンデマンドアダプタ AD300 誕生!

月額プラス1,000円で

さらに安心・安全に、より便利に



NTT DATA

実証実験参加施設募集中

※募集予定数に達した場合
予告なく募集を終了します

<問合せ先>
株式会社NTTデータ中国
ヘルスケア&クラウドサービス部
Tel. 082-252-3303



あじさいネット説明同意書の送付先一覧

AJISAI NET

見やすいところに貼ってご利用いただくと便利です

(2020年1月現在: 情報提供病院 37 施設)

	医療機関名・受付時間 (日曜・祝日は全施設受付なし)	FAX 番号	電話番号
県央・佐賀・島原	国立病院機構 長崎医療センター 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0120-731-063	0120-731-062
	市立大村市民病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-378-375	0957-52-1800
	国立病院機構 長崎川棚医療センター 地域医療支援センター (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-82-2970	0956-82-3121
	諫早総合病院 医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0120-1388-35	0957-22-1380
	貞松病院 地域医療連携室 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	0957-54-1165	0957-54-1161
	愛野記念病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 8:30-12:30 ※ 第2土曜休)	0957-36-0731	0957-36-3950
	諫早記念病院 医療連携室 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	0957-22-2903	0957-22-0370
	日赤長崎原爆諫早病院 医療連携室 (平日 8:30-16:30 土 受付なし)	0957-43-2870	0957-43-2111
	南野病院 地域医療連携室 (平日 9:30-16:30 土 受付なし)	0957-54-8752	0957-47-5200
	宮崎病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0957-25-7053	0957-25-4800
	国立病院機構 嬉野医療センター 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-473-489	0954-43-1213
長崎県島原病院 地域医療支援センター (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	0957-63-6544	0957-63-1145	
五島・杵岐・対馬	長崎県上五島病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0959-52-8150	0959-52-3000
	長崎県五島中央病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0959-75-0657	0959-72-3181
	長崎県杵岐病院 地域包括健康増進センター (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0920-47-1136	0920-47-1135
	光武内科循環器科病院 地域連携課 (平日 9:00-16:30 土 受付なし)	0920-48-1655	0920-47-0023
	長崎県対馬病院 地域連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-765-191	0920-54-7172
県北	佐世保共済病院 医療連携室 (平日 8:30-17:30 土 受付なし)	0120-12-2067	0956-22-5136
	長崎労災病院 地域医療連携室 (平日 8:15-17:00 土 受付なし)	0120-666-437	0956-49-2191

《賛助会員様広告欄》

「つなぐ医療」から、
「支える医療」へ。

FUJITSU

富士通は、医療の未来をカタチにしていきます。

地域医療ネットワークの整備が進むなか、富士通は、地域と住民を「支える医療」にいち早く着手。災害時の事業継続、ビッグデータによる個別化医療、創薬の加速化をサポートします。

HumanBridge EHRソリューション

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン (総合窓口) 0120-933-200 (受付時間 9:00~17:30 土・日・祝日・年末年始を除く)

<http://jp.fujitsu.com/solutions/medical/products/humanbridge/>

shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために



あじさいネット説明同意書の送付先一覧

AJISAI NET

見やすいところに貼ってご利用いただくと便利です

(2020年1月現在: 情報提供病院 37施設)

	医療機関名・受付時間 (日曜・祝日は全施設受付なし)	FAX 番号	電話番号
長 崎 市	光晴会病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 8:30-12:00)	0120-573-632	095-857-3563
	十善会病院 地域連携室 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	095-818-5388	095-821-1214
	長崎大学病院 地域医療連携センター (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	095-819-7305	095-819-7930
	長崎みなとメディカルセンター 患者総合支援センター (平日 8:45-17:00 土 受付なし)	095-821-1116	095-822-3251
	日赤長崎原爆病院 病診連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0120-845-262	0120-845-261
	済生会長崎病院 地域医療連携センター (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	095-827-7025	095-827-7021
	聖フランシスコ病院 地域連携科 (平日 9:00-17:00 土 9:00-12:00)	095-845-7600	095-846-2553
	井上病院 地域連携室 (平日 9:00-17:00 土 9:00-12:00)	095-849-6622	095-844-1281
	長崎記念病院 地域連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	095-871-1510	095-871-1515
	長崎北病院 診療録管理室 (平日 9:00-17:00 土 9:00-12:00)	095-886-8707	095-886-8700
	虹が丘病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 8:30-12:30)	095-856-1102	095-856-1112
	上戸町病院 地域連携室 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	095-832-5616	095-832-5615
	国立病院機構 長崎病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	095-808-0176	095-824-2788
	重工記念長崎病院 地域連携室 (平日 8:30-17:00 土 8:30-11:30) ※ 第2・第4土曜のみ受付	095-828-4935	095-828-4820
	長崎北徳洲会病院 医局 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	095-857-0928	095-857-3080
	長崎百合野病院 地域連携室 (平日 8:30-17:00 土 8:30-12:00)	0120-857-057	095-857-3366
県 北	佐世保市総合医療センター 地域連携センター (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0956-24-0474	0956-24-1515
	佐世保中央病院 地域医療連携センター (平日 8:30-17:30 土 8:30-12:00)	0800-7000-070	0120-33-8293

あじさいネット説明同意書は、必ずこの表に記載のFAX番号あてに送信してください。
同じ病院内でも違う番号(代表番号等)あてにFAXすると、処理に時間がかかる場合があります。



《賛助会員様広告欄》

医療機関
無床診療所から大規模病院までの
医事会計システム・電子カルテ
など

福祉施設
小規模事業所～大規模施設
地域包括支援センター
など

調剤薬局

私たちは
地域医療
ネットワーク
に貢献します

FUJITSU
オフィスメーション株式会社は
富士通パートナーです。

HOPE
日医標準
レセプトソフト
ORCA


オフィスメーション株式会社
長崎市金屋町2-6 電腦BLD.
<http://www.nagasaki-om.co.jp>
お問い合わせ **095-895-8188**
(ヘルスケア直通)

『あじさいネット』に協賛しています。

常に進化し続ける あじさいネット

みやざき まさのぶ
宮崎内科医院 院長 宮崎 正信 先生



平成21年
あじさいネット
入会

「あじさいネット」を
利用して地域包括ケアの
実現を目指す

開業して間もなく、あじさいネットに入会させて頂き、13年となります。その頃は「あじさいネット」と「長崎在宅Drネット」との区別もつかないまま、両者が「一体化」しているような印象で、2つの組織に入会しました。今考えると、2つの組織は別々なのに、実に巧みにお互いに相補、相関し合っており、支えているかのように感じます。2つの組織の活動内容は別々ですが、その目標は「地域包括ケア」の実践を目指すということでは一致していると思います。「あじさいネット」の病診連携は、入院ギリギリの患者さんを在宅で診るには必須であり、「在宅Drネット」は自宅で過ごす患者さんをサポートする為には、こちらも必須のものとな

なっています。

その意味で、2つの組織がこの長崎で生まれたという事は、必然に近い偶然のように感じます。実際に立ちあげられた先生方の先見の明と、その尽力、エネルギーは計り知れないものがあつたに違いないと敬意を表する次第です。

あじさいネットの 素晴らしさ

今は、入院ギリギリの患者さんが多くなっており、それは入院退院を繰り返す患者さんが多いという事を意味しています。大病院では、入院や外来での検査が多いので、基幹病院での状況を、かかりつけ医として把握できる事は本当に有り難く、患者さんの為の診療に繋がっている事を痛感しています。また、退院前カンファレンスは、大病院と基幹病院、そして当院を結んで、実に効率的です。

あじさいネットの凄いなところは、常に変わり続けているという事だと思えます。今を、そして、将来のあるべき姿を考えて、変革していくという事は容易なことではなく、これが他の地域の連携ネットと異なる事ではないでしょうか。あじさいネットの理事の先生方の知恵と、素晴らしい熱意がそれを支えていると思えます。先日開催された、第8回あじさいネット研究会の際のテーマ、「AIするあじさいネット」では、それをまさに表していると感じました。

改善してほしい点

このような素晴らしいあじさいネットですが、私を感じている不便さが2つあります。一つは、通信する時のスピードの遅さです。インターネットに慣れている為だという理由でもありませんが、診療時に操作するには、遅いと感じているのは私だけでしょうか？何とか改善して頂ければと思います。もう一つは、私はコンピュータに詳しくない為、先生方のメッセージリストでのやり取りが、わからない時が多くあります。どう対処すれば良いのか？と気が滅入ってしまう事が少なくありません。どなたへ尋ねれば良いのかと、悩んでしまう事が多く、その点を明確にして頂ければと思います（私の思い違いであれば申し訳ありません）。

今後の発展を期待して

私は、腎臓と糖尿病を中心に、専門外来とかかりつけ医、そして在宅医療をしております。在宅での高齢者の腹膜透析の実現には、「あじさいネット」の使用が欠かせません。今は糖尿病腎症重症化予防で、透析患者を一人でも減らす事ができればと微力ながら活動しております。今後、進化し続ける「あじさいネット」のさらなる利用、発展をそれに活かす事ができればと、今後の相談、ご指導をよろしくお願い致します。

宮崎内科医院 TEL. 095-845-0312 FAX. 095-844-1301 E-mail: miyazaki_naika2006@yahoo.co.jp

《賛助会員様広告欄》

私達はグループ一丸となって、長崎力を最大限活用し、企業理念の実現を目指します。

臨床検査向けシステムの開発において、最適で最高の
システムをお客様にご提供いたします



D-solution ディーソールグループ

株式会社ディーソールNSP

代表取締役社長 今村 勇雄

〒850-0057 長崎県長崎市大黒町 11-8 長崎東京生命館7階 Tel: 095-821-4361 Fax: 095-821-4362

災害時のあじさいネットの 利用を検討中です

陽蘭会 広瀬クリニック 院長 ^{ひろせ} ^{みさき} 廣瀬 弥幸 先生

私は長崎大学第2内科に入局し、腎臓内科・血液透析・腹膜透析等の研鑽を積んで参りましたが、2011年以降は長崎大学病院の医療情報部 診療情報管理室や病床管理センターに所属し、病院の運営や経営に参画させていただきました。医療情報部では、松本浩治先生にあじさいネットについての厚生労働省科学研究「地理的境界を超えた安全な医療情報連携に関する研究」の分担研究者にいただき、また、日夜あじさいネットの取り組みを伺っていたこともありまして、父が

あじさいネットへの 入会のきっかけ

平成29年
あじさいネット
入会



人工透析外科・人工透析内科・腎臓内科
陽蘭会 広瀬クリニック

開業しております広瀬クリニックに勤務するようになってから、あじさいネットに入会いたしました。

広瀬クリニックは、主に血液透析や内シヤントの治療、腎臓内科診療を行っている有床診療所です。腎不全診療では、診療に必要な情報の項目数が多いため、問い合わせをする場合があります。また、腎不全の患者さんでは多様な合併症を来しうるため、様々な専門領域の先生方にご紹介をしますが、血液透析は中1〜2日で行うため、返書が郵送されてくる前に結果を知りたい場合もあります。このような場合に、あじさいネットは大変有効だと感じており、その利点について2018年の日本診療情報管理学会で発表させていただきました。

災害時には、透析患者さんが遠隔地に避難する場合がありますが、血液透析に必要な透析液の種類や薬剤等)の情報を持参できず、避難先の医療機関がどのような条件で血液透析を行えばよいかかわからないことが問題になりました。あじさいネットでは、情報閲覧医療機関にも、自院の診療情報をアップロードするための領域が与えられているので、ここに透析記録等の情報をアップロードしておいて、災害

当院での あじさいネットの活用

時に透析条件を避難先で閲覧できないかと検討をしています。災害時の血液透析等の情報共有は、全国的にも関心が高く、日本透析医学会で発表した際にはたくさんさんの質問をいただきました。

医療情報連携システムや電子カルテの規格がなかなか標準化されない中、あじさいネットは機能を増やし、様々な取り組みが進められていると伺っています。Securityが高く、持続可能であるという点でも優れたシステムですので、今後は、社会のインフラとしての役割をどんどん広げていただき、将来的には、あじさいネットが日本の標準になっていただければと楽しみにしています。

今後のあじさいネット への期待

今年から、息子たちが所属している少年ソフトボール部のコーチになりました。少子化の影響や、他に魅力的な競技があることもあって、長崎市内の少年ソフトボールチームは減り続けています。私が小学校時代に所属していたチームですし、自チームの存続・発展と社会貢献のため、ソフトボールも頑張っています。

休日の過ごし方

今年から、息子たちが所属している少年ソフトボール部のコーチになりました。少子化の影響や、他に魅力的な競技があることもあって、長崎市内の少年ソフトボールチームは減り続けています。私が小学校時代に所属していたチームですし、自チームの存続・発展と社会貢献のため、ソフトボールも頑張っています。

陽蘭会 広瀬クリニック TEL. 095-828-1355 FAX. 095-828-1366 E-mail: hirose.ci.osuwamae@energy.ocn.ne.jp

《賛助会員様広告欄》

医院の情報集約の中心となる医事一体型電子カルテ

- メディコムはレセコンのパイオニア。そのノウハウを搭載した電子カルテ。カルテ入力から、会計・レセプト業務までOK。
- 紙カルテに近い視認性と、直感的に入力できる操作性を実現。主訴・所見・投薬・検査・病名までも一画面から簡単に入力が可能。さらに最新のタッチ入力にも対応。
- カルテに記載した診療情報(記事、処方、注射など)をあじさいネットにアップロードが可能。

クリックすると
かんたんに入力されます。

※本製品には、医療機器に該当する機能は含まれておりません。
※接続可能な機器については、販売代理店までご連絡ください。

2018年4月 パナソニックヘルスケアから社名変更しました

PHC株式会社 メディコム事業部 **medicom**



あじさいネットの機能一覧

あじさいネットは長崎県内の医療機関をつなぐネットワークシステムです。

あじさいネットは病診連携の機能だけでなく、
様々な機能を加えながら、「進化」し続けています。



病診連携・病薬連携・病病連携 (カルテ共有)

情報提供病院のカルテ、画像、検査結果などの診療情報を共有することで、過去の病歴や併存症を正確に把握し、より質の高い医療提供に役立てられます。



多職種連携(在宅医療)

複数の医療機関の様々な職種の方々との間で患者さんの情報を共有できます。在宅医療や専門に特化した診療に役立てられます。



セキュアメール(暗号化メール)

あじさいネット内でのみ送受信できるメールサービスです。高度に暗号化されているので安全に患者さんの診療情報を他院に送ることができます。



検査データ共有サービス

外注検査会社に依頼した検査結果をあじさいネット上で閲覧できます。さらにこの検査結果を他の診療所や病院と共有することが可能です。



AMEC TV会議

あじさいネットに繋がる端末に、カメラや音声機器をセットし、あじさいネットにログインすれば、どこでも手軽にTV会議やカンファランスに参加できます。



AMEC ビデオ配信

医療従事者の知識・技術取得向上の為に開催されている研修会や講演会を録画配信していますので、あじさいネット上でいつでも視聴できます。



糖尿病疾病管理

糖尿病を持つ患者さんの診療情報を複数の医療機関で共有し、糖尿病診療の質向上を目指しています。



周産期医療支援ネットワークシステム 「すくすく」

母子の記録・情報を管理し、安全な出産と健全な発育の支援をしています。また、救急搬送時、周産期センター側は、妊婦さんの到着前に詳細な妊婦さんと胎児の経過を把握することが可能です。



地域連携パス【テスト運用中】

診療所と情報提供病院の医師が、患者さんの治療を協力して行うために治療経過を共有する治療計画表・管理表の電子版です。専門外の分野でも安心して診療ができるようシステムサポートしています。

**あじさいネットには
こんなサービスもあります！！**

時間外対応サービス

夜間休日でも新規患者の病診連携・病薬連携・病病連携(カルテ共有)が行えるサービスです。夜間休日は病院の登録窓口が閉まっているため患者登録ができませんでしたが、あじさいネットではそれが可能になりました。



より良い医療のために
あなたも、あじさいネットに参加しませんか。

あじさいネット 入会のご案内 【閲覧施設用】

情報提供病院の入会については手続き・費用とも本ページの記載と異なりますので、あじさいネット事務局にお問合せください。

入会申請から利用開始までの流れ

入会申請書を提出する

入会申請書に必要事項を記入し、あじさいネット事務局へ提出します。（申請書はホームページからダウンロードできます）

施設が新規に入会する時に必要な書類

- 施設入会申請書【情報閲覧施設用】
- 機器設置ヒアリングシート
- 入会する人数分の 個人入会申請書

運用講習会を受講する

あじさいネットの概要や、利用に際し必要な事をご説明する「運用講習会」を受講していただきます。

（講習会の日時や場所は、入会申請受理後にご案内いたします）

受講が終わると、「あじさい会員ID」が発行されます。

機器を設置する

あじさいネットを利用するために必要なVPN機器の設置をするため、専門業者が施設にお伺いいたします。

（設置の日程については入会申請後、専門業者よりご案内いたします。）

初期費用・利用料のお支払い

入会金・初期設定費用・利用料をお支払いいただきます。

※「利用料」は会費およびシステム料・ウィルス対策費用で、毎年10月以降に1年分を請求します。入会時は機器設置の翌月から9月分までを一括でお支払い下さい。

ご利用開始

これであじさいネットが利用可能です。患者さんから同意書を取り、情報提供病院にFAXすると約15分で（※）診療情報が閲覧できるようになります。皆様の日々の診療にぜひお役立て下さい。

（※ 多人数登録の同意書については設定に15分以上かかる場合があります。）

あじさいネットは、医療関係機関を強固なセキュリティネットワークでつなぎ、様々な情報をやりとりできる全国屈指の医療連携ネットワークシステムです。あじさいネット上では、情報提供病院の診療情報を閲覧するサービスを始めとして、その他にも様々なサービス・機能を提供しております。今後さらなる機能拡張・追加を予定しています。

入会申し込みからご利用開始までの手順は、左記の通りです。たくさんの医療関係機関の参加をお待ちしています。

特別な機器は不要です

通常のインターネットができるWindowsパソコン環境があればお申し込みできます（MacOSでは動作保証なし）。

それ以外に事前に準備するものはありません。（※）

※TV会議を利用するにはパソコンに接続できるマイク・スピーカー・WEBカメラが必要です。

モバイルでも使えます

あじさいネットはiPadでも利用でき、在宅診療等にとても有用なツールとなります。ただしご利用できるのはパソコンであじさいネットに接続できる（VPN機器が設置されている）会員施設限定で、iPadのみでの入会利用はできません。

また、通常の利用料と別にiPad 1台につき月額700円が必要です。（※）

※暗号化通信および本体紛失時対応のための証明書ライセンス料になります。

申請書類ダウンロード：あじさいネットホームページ
<http://www.ajisai-net.org/>

「医療関係の皆さま」→「入会・退会申請書」のページからダウンロードしてください。

閲覧施設の皆さまが
入会する場合の

入会時の費用

所属団体が
入会済なら
無料!

入会金
(1施設ごと)
50,000円

初期設定費用
(VPN機器1台)
30,000円

※ 所属団体（医師会、薬剤師会等）が入会されている場合は、**入会金が無料**になります。

※ 施設の種別が「病院」の場合は病床数により金額が変わります。詳しくは事務局へお尋ねください。

入会についてのお問い合わせ先

あじさいネット事務局
(長崎県医師会内)
095-844-1111

閲覧施設の皆さまの 会員区分とご利用料金

	正会員	準会員*	ポータル会員*	システム料 (VPN機器1台)	ウィルス対策ソフト ライセンス料 (パソコン1台毎)
年会費 (1年分一括払い)	36,000円 (月額3,000円)	12,000円 (月額1,000円)	2,400円 (月額200円)	12,000円 (月額1,000円)	3,000円
利用できる機能	あじさいネット 基本機能全て	あじさいネット 基本機能全て	希望する 1機能のみ	(価格は全て税込です)	
総会議決権	○	×	×	※ 5人以上入会する施設は会費が割引になります。 詳しい金額は事務局へお問い合わせ下さい。 ※ 情報提供病院はこの表と金額が異なります。	

* 1施設において、少なくとも1人は正会員となります。「準会員」または「ポータル会員」は、2人目以降の入会者について選択可能となります。

皆さん!! ICT(電子的診療情報評価料)加算を算定してますか?

「あじさいネット」と診療報酬

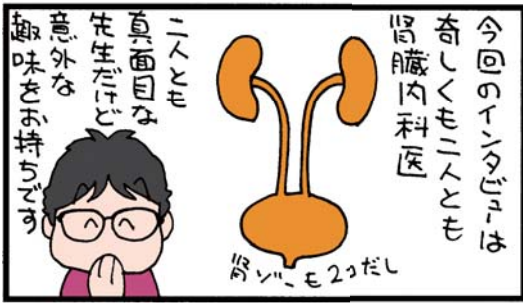
平成28年度の診療報酬改定よりあじさいネットの利用で診療報酬が算定できるようになっております。すでに県内137医療機関が施設基準を届けておられ、多くの会員様が算定されていますが、まだの方は是非、算定されてください。一回30点と点数は低いです、月14回算定すれば4,200円になって、あじさいネットの会費がまかなえることになり、月7回なら会費が半額になります。ところで、この評価料は、あじさいネットと島根県のみネットがモデルとなって診療報酬評価されたものです。

また、30年度改定で緩和された退院時共同指導でのTV会議参加も、我々がお願いしていた内容が反映された形になりました。

また、もし日医の医師資格カード(HPKIカード)をお持ちであれば、紹介時の診療情報提供書をあじさいネットのセキュアメールで送ることで、さらに30点が算定可能で

これら以外にもお願いしておりますので、今後とも評価が続くものと期待しております。ただし、算定総数が少ないと不要とされ算定できなくなる可能性がありますので、是非算定していただきたいのですが、算定する上ではまず、施設基準の届出が必要です。注重点としては情報提供病院からの診療提供書を受け取った時のみ算定可能で、その患者さんは自院が紹介した患者に限るとされています。つまり、情報提供病院に紹介すれば最終的には自院に逆紹介されますので、活発に紹介すればするほど算定件数が増えることとなります。これは病診連携が活発になり、地域医療の質向上につながります。

また、昨年年度評価されたオンライン診療では、医師と患者(D to P型)に限られていたD to N to P型オンライン診療も評価されるようになります。これは患者のそばにいる他の医師や看護師さんを介してオンライン診療を行うもので、これだと患者さんがスマートフォンを持っていない、使えないといった問題も心配ありませんし、これはあじさいネットのTV会議だけで利用できますので追加費用が掛かりません。(2,000円〜4,000円のWEBカメラとイヤホンマイクは必要です)。特に専門的な医療支援等で有用ですので、病院はもちろん、診療所においても、他院に対する自専門分野の支援に利用できますので、かなり利用範囲は広がるものと期待しております。



漫画制作： たくま医院 院長 詫摩和彦先生
(長崎市医師会所属/長崎在宅Dr.ネット副理事長)

あじさいネットからのお知らせ

配信用の動画コンテンツを募集しています!

あじさいネット「医療関連ビデオ配信」のコンテンツについて、動画データを募集いたします。医療関係者向けの講演会や研修会について、演者または講師の許可を得られた動画であれば、公開できます。ご協力いただける方は、あじさいネット拡充プロジェクト室までご連絡ください。

お問い合わせ・入会お申込み

あじさいネット事務局 (長崎県医師会内)
TEL.095-844-1111 FAX.095-844-1110
aj-na@nagasaki.med.or.jp

広報紙に掲載する寄稿を募集します!

本誌「あじさいネットOFFLINE通信」では、寄稿を募集することとなりました。「あじさいネットのこんな便利な使い方もある」「こんな時に大変役に立った」といったエピソードが有りましたらぜひお寄せ下さい。先輩ユーザーの皆様の経験談が、ライトユーザーや入会検討中の方々の参考になります。ご協力いただける方は、あじさいネット拡充プロジェクト室までご連絡ください。

皆さんの経験談が力になります!

現在の施設を退会、転勤をされる方は退会申請書の提出をお願いします!

現在の施設を退職される方、または転勤をされる方はあじさいネットの退会申請書の提出をお願いいたします。転勤にされる場合は、新しい施設での入会申請書のご提出もよろしく願っています。

なお、既に退職された方または転勤された方がいらっしゃいましたら、各病院のあじさいネットご担当者様より代理で退会申請書をご提出いただけますようお願いいたします。